申請事業名	レインボー・コンサート
申請団体	レインボー・ミュージックソサエティー
事業目的	・音楽の溢れる文化豊かなまちづくり ・地域の交流機会の創出 ・音楽による情操豊かな子どもの成長
交付決定日	平成27年5月25日
交付決定額 (事業費)	160,000円(決算347,539円)
団体実績報告	・レインボー・コンサートと題し、下記8回のイベントを実施した。 6/10 ギターアンサンブル 7/8 昭和の歌謡史、ギターで唄おう 9/9 ヴァイオリン・フルートコラボ 10/8 トランペット 11/11 バリトン・ソロ 12/9 二胡 2/10 ギターアンサンブル 3/9 リコーダー 当地の居住者は、自治会活動者を除いては意外に交流の機会が少なく、特に高齢男性に顕著であり、これらの方々の交流の場として、また発表の場としても気楽な音楽会を開くことができた。
市 評 価	毎回90名の参加者を維持し続け、3年間で20回以上開催されていることは、楽しく交流できる場として地域から認知されていることの表れであり、高く評価できる。今後も続けることで地域の文化として育っていくことが期待される。
備考	

申請事業名	東林地区救急医療情報ケース整備事業
申請団体	東林地区民生委員児童委員協議会
事 業 目 的	高齢者等の救急時の適切な医療活動を助力し、安全・安心活動及び見 守り活動の促進を図ることを目的とする。
交付決定日	平成27年5月25日
交付決定額 (事業費)	870,000円(決算870,000円)
団体実績報告	東林地区民生委員児童委員協議会で「救急医療情報ケース検討プロジェクトチーム」を結成、ケース名を「いざという時の安心・安全ケース」とした。ケース内容物や啓発チラシを作り、配付対象者をどのようにするか話し合いを重ねた。また、ケースの作製には地域作業所の協力をいただいた。 民生委員による戸別訪問で対象者に配付した。28年3月現在の配付数は約2800本である。当初は、77歳以上の独居高齢者や高齢者のみ世帯への配付を考えていたが、70歳以上の日中独居世帯や障害がある方等、配付対象者を広げた。地区での安全・安心活動及び見守り活動の促進につながっている。
市評価	今後、一層の高齢化が見込まれる中、3000人近い住民が救急医療情報ケースを手にしたことは、救急時だけでなく災害時にも効果を発揮するものと思われる。市消防局に情報提供し、救急時の協力を要請したことも、本事業を実効性あるものにするための取組として評価できる。
備考	

申請事業名	おださがさくら祭り
申請団体	おださがさくら祭り実行委員会
事 業 目 的	協力者、参加者、主催者が一体となり、まちを愛するこころをつくりあげ、地域活性につなげる。 地域益:毎年多くの住民から愛されるまつりへ参加者益:人とのつながりが感じられるまつりへ主催者益:まつりの開催が組織の成長と周知へつながっていくまつりへ
交付決定日	平成28年1月5日
交付決定額 (事業費)	500,000円(決算2,609,426円)
団体実績報告	3月26日に「第1回おださがさくら祭り」を実施した。 ・縁日、屋台の出店:14店舗 ・ステージ出演団体:20団体及び個人 1万人を超える来場があり、地域に根ざした新旧商店の商業の振興と共に、おださがで活動する団体のステージ発表の場を通じておださがの魅力発信ができた。おださが桜祭り、松が枝公園の桜、おださがの春を通じて地元を愛する心の醸成ができた。
市評価	第1回であるにもかかわらず、非常に多くの来場者でにぎわい、本事業に対する地域からの期待の大きさがうかがえた。また、ゴザの貸し出しを行うなどの来場者への配慮もあり、大変好評であった。今後のさらなる発展を期待したい。
備考	